特別支援学校

高等部1学年担当の先生用

特別支援学校における「不登校支援」「情緒不安」「連携」の実態に関する調査

この度は調査にご協力頂き、誠にありがとうございます。本調査は、貴校の**高等部一年生の担任１名**の方を対象にしたものです（複数いらっしゃる場合はそのうちの１名がご回答ください）。得られたデータは統計処理を致しますので、学校名や個人が特定・公表されることは一切ありません。また、結果につきましても、学術的な目的以外には使用いたしません。それぞれの質問をよくお読み頂きお答え下さい。ご回答もれのないように、宜しくお願い致します。　東京学芸大学・橋本創一

【ご回答頂く先生ご自身について、教えてください。】（本年度の年度末における年数をお教えください）

（１）教諭としての勤務歴（その内特別支援学校での勤務歴）　＿＿＿＿年目（内、特別支援学校＿＿＿＿年目）

（２）ご担当されている障害部門をお選びください。

〔　知的障害　・　肢体不自由　・　病弱　〕

（３）担任されているクラスの生徒数　＿＿＿＿名

Ａ．特別支援学校高等部に在籍する「不登校・不登校傾向にある生徒」について＊＊＊＊

【Ⅰ．不登校・不登校傾向にある生徒（Ａさん）に対する支援について】
（昨年度やそれ以前に担当された生徒についてご回答いただいても差し支えございません。）＊＊＊＊

問Ｘ　不登校･不登校傾向のある生徒を担任したことがありますか？

①　ない　②　ある〔ある場合は，その生徒の学部･学年：＿＿＿＿学部＿＿＿＿年生〕

③　その他〔　　〕

※不登校･不登校傾向にある生徒の**担任経験がない先生は**、**担任をしているクラスの中で指導に苦戦している生徒一人**思い浮かべながら、質問項目　Ⅲ．についてご回答をお願いいたします。

【Ⅰ．不登校･不登校傾向のある生徒（以下、Ａさんとします）の様子と学校での対応について】

※不登校･不登校傾向のある生徒を複数担当される場合は、お一人について想起しお答えください。
また、不登校生徒の担当経験のない先生は未回答で結構です。

問１　Ａさんの欠席状況や学校の様子であてはまるものはどれですか？　本年度の欠席日数については、一学期中の状況や年度末に向けての見込み･判断でお答えください。

①　年間３０日以上の欠席がある（見込みである）

②　欠席日数が年間３０日未満であるが、１週間連続して欠席するなど一定程度２の欠席がある。

③　①又は②に該当しないが、遅刻早退が１カ月に５回以上で、登校しても教室以外の別室で過ごすことが多い。

④　①又は②に該当しないが、遅刻早退が１カ月に５回以上である。登校すると教室で過ごすことができる。

⑤　①～④には該当しないが、登校しても教室以外の別室で過ごすことが多い。

⑥　①～⑤には該当しないが、不登校の傾向がある。

⑦　その他〔　　〕

問２　Ａさんの不登校･不登校傾向の状態はいつ頃からみられていますか？

①　高等部入学以前から　②　高等部入学後から　③　その他〔　　〕

問３　Ａさんの不登校･不登校傾向が継続している原因として考えられるものはなんですか？（複数回答可）

①　学校での友人関係　②教師との関係　③学習の遅れ　④学校生活への不適応

⑤　家庭環境の変化　⑥生活リズムの乱れ　⑦無気力･不安　⑧その他〔　　〕

問４　Ａさんへの支援として実施しているものは何ですか？（複数回答可）

① 学年会・学部会で情報共有し検討　② 管理職への相談　③ 校内委員会で検討　④ 家庭訪問
④ 保護者面談　⑥外部専門家の活用（スクールカウンセラー等）
⑦ 外部機関の活用（適応指導教室、フリースクール等）
⑧ その他〔　　〕

問５ Ａさんの障害として，診断されているものを下から選んでください（複数回答可）。
① 自閉スペクトラム症　②知的障害　③脳性まひ　④精神障害（精神疾患）
⑤ 聴覚障害　⑥視覚障害　⑦重症心身障害　⑧重篤な身体疾患〔　　〕
⑨ その他〔　　〕

【Ⅱ．不登校・不登校傾向のある生徒（Ａさん）の支援において、回答される先生の負荷を感じる状況について】
※不登校生徒の担当経験のない先生は未回答で結構です。質問項目 Ⅲ．についてご回答をお願いいたします。

問１ Ａさんの不登校の原因を理解しようとすることについて、負荷を感じますか（感じましたか）
（例：不登校の原因は何だったのか、どこに原因があったのか等）。
1 負荷を感じない　2 あまり負荷を感じない　3 どちらともいえない　4 負荷を感じる　5 とても負荷を感じる

問２ Ａさんに対する指導方法について、負荷を感じますか（感じましたか）。
（例：教科指導や生徒指導上のやりにくさ等）。
1 負荷を感じない　2 あまり負荷を感じない　3 どちらともいえない　4 負荷を感じる　5 とても負荷を感じる

問３ Ａさんとクラスの他の生徒との人間関係について、負荷を感じますか（感じましたか）
（例：Ａさんの様子を他の生徒へ説明すること等）。
1 負荷を感じない　2 あまり負荷を感じない　3 どちらともいえない　4 負荷を感じる　5 とても負荷を感じる

問４ Ａさんに対する支援について管理職や他の教職員等とやり取りをする際に、負荷を感じますか（感じましたか）。
1 負荷を感じない　2 あまり負荷を感じない　3 どちらともいえない　4 負荷を感じる　5 とても負荷を感じる

問５ Ａさんへの対応を行う際に、校内の教職員に対して申し訳ないと思ったり、迷惑をかけていると思ったりして、
負荷を感じますか（感じましたか）。
1 負荷を感じない　2 あまり負荷を感じない　3 どちらともいえない　4 負荷を感じる　5 とても負荷を感じる

問６ Ａさんの保護者との連携や対応について、負荷を感じますか（感じましたか）。
1 負荷を感じない　2 あまり負荷を感じない　3 どちらともいえない　4 負荷を感じる　5 とても負荷を感じる

【Ⅲ．不登校・不登校傾向のある生徒（Ａさん）、または指導に苦戦している生徒（Ｂさん）におけるストレスについて】
※不登校・不登校傾向にある生徒の担任経験がある先生はＡさんについて、担任経験がない先生はクラスの中で指導に苦戦している生徒（Ｂさん）を思い浮かべながら、その指導・支援において、抱いている感情（抱いた感情）についてお聞きします。

問１ 何となく心配だ（何となく心配になった）
1 全くちがう　2 いくらかそうだ　3 まあそうだ　4 そのとおりだ

問２ 怒りを感じる（怒りを感じた）
1 全くちがう　2 いくらかそうだ　3 まあそうだ　4 そのとおりだ

問３ 泣きたい気持ちだ（泣きたい気持ちになった）

1　全くちがう　　2　いくらかそうだ　　3　まあそうだ　　4　そのとおりだ

問４　くやしい思いがする（くやしい思いがした）
1　全くちがう　　2　いくらかそうだ　　3　まあそうだ　　4　そのとおりだ

問５　不愉快だ（不愉快になった）
1　全くちがう　　2　いくらかそうだ　　3　まあそうだ　　4　そのとおりだ

問６　いろいろなことに自信がない（いろいろなことに自信がなくなった）
1　全くちがう　　2　いくらかそうだ　　3　まあそうだ　　4　そのとおりだ

問７　何もかもいやだと思う（何もかもいやだと思った）
1　全くちがう　　2　いくらかそうだ　　3　まあそうだ　　4　そのとおりだ

問８　話や行動がまとまらない（話や行動がまとまらなくなった）
1　全くちがう　　2　いくらかそうだ　　3　まあそうだ　　4　そのとおりだ

問９　ひとりでいたい気分だ（ひとりでいたい気分だった）
1　全くちがう　　2　いくらかそうだ　　3　まあそうだ　　4　そのとおりだ

Ｂ．特別支援学校高等部に在籍する「情緒不安のある生徒」について＊＊＊＊

本調査は、生徒の情緒不安について『周囲の環境から受けるストレスによって生じたストレス反応として、状況に合わない心身の状態が持続し、それらを自分の意思ではコントロールできないことが継続している状態がある者（発達障害がある場合もあれば、必ずしも障害とは限らない）、と恣意的に定義し、情緒不安のある生徒の支援ニーズについて調査することを目的とします。

問１　貴クラスで**情緒不安のある生徒**は何名いますか？

＿＿＿名

問２　近年、情緒不安のある生徒は増えていると思いますか？　回答者のお考えで結構です。
①とても増えている　　②やや増えている　　③変わらない　　④やや減っている　　⑤とても減っている
⑥わからない

問３　貴クラスに在籍する『情緒不安定のある生徒』の中で **1 名**を抽出して、その支援ニーズについてお答え下さい。
（情緒不安定のある生徒がいない場合は、未記入で結構です）

（Ｘ）本生徒は、
（１）医学的診断の有無　**①あり　②なし　③不明**
→①を選んだ場合、 診断名をお書き下さい〔　　〕
（２）服薬の有無　**①服薬している　②服薬していない　③わからない**
（３）学校生活において、具体的にみられる姿（気になる行動や問題など）を以下から選んで下さい（複数回答可）。
①場面かん黙　②不登校・登校しぶり　③過度の不安（分離不安、虫などの恐怖）　④抑うつ症状や無気力
⑤自傷行為　⑥かんしゃくや怒りを頻発　⑦暴力や攻撃的行動　⑧反抗や暴言　⑨過度に他者に甘える
⑩身体愁訴（腹痛・頭痛・だるさなどの頻発）を訴える　⑪拒食　⑫強迫的行動（何度も手を洗うなど）
⑬抜毛・性器いじりを繰り返す　⑭被害妄想を主張　⑮ゲーム依存　⑯排尿の失敗を繰り返す
⑰その他〔　　〕

（４）学校生活において、支援すべきと考えられているニーズ（課題）を以下から選んで下さい（複数回答可）。

①学習面　②生活面　③対人関係面　④運動面　⑤自己肯定感の低さ　⑥他児とのトラブル
⑦非行・問題行動　⑧不登校・登校しぶり　⑨孤立・内向的　⑩その他〔

（５）家庭環境に問題を抱えていますか？　**①問題がある　②問題はない　③わからない**
→①を選んだ場合、その問題についてお書き下さい〔　　〕

（６）生徒本人の情緒不安があることに関する自己理解についてあてはまるものをお答えください。
①適切に自己理解ができている　②自己理解はややできている　③自己理解はできていない　④不明
⑤その他〔　　〕

（７）保護者や家族において、本生徒の子育ての困難さについてあてはまるものをお答えください。
①大変困っている　②やや困っている　③あまり困っていない　④まったく困っていない　⑤不明
→①②を選んだ場合、具体的な困難さについてお書き下さい〔　　〕

（８）担任されている先生において、本生徒の教育支援の困難さについてあてはまるものをお答えください。
①大変困っている　②やや困っている　③あまり困っていない　④まったく困っていない　⑤不明
→①②を選んだ場合、具体的な困難さについてお書き下さい〔　　〕

（９）本生徒の教育支援において、問題点や指導上の悩みなどをお書き下さい。

問４　情緒不安定のある生徒が増加傾向にあることが指摘されていますが、これまでと違ってきた学校教育の問題点や検討すべき課題について、ご回答されている先生のお考えをお書き下さい。

Ⅲ.「保護者支援と医療機関との連携」について＊＊＊＊

この調査は、保護者支援と医療機関との連携について調べることを目的としています。

Ⅲ-１　現在担当している学部の保護者支援について

問１　保護者のニーズを把握するために行っている取り組みについてご自由にお書きください。
（例：定期的に面談を行っている／保護者会を各学期末に開いている）
〔　　〕

問２　保護者支援について特に配慮をしていることについてご自由にお書きください。
（例：保護者のメンタルヘルスを留意して／保護者の理解力などに応じた説明／夜間の連絡／メール使用など）
〔　　〕

問３　保護者が必要としている福祉・医療・進路等の情報について，ご回答されている先生はどのように入手し，提供していますか。ご自由にお書きください。（例：進路担当や養護教諭にまかせている／直接関係機関に問い合わせる）
〔　　〕

Ⅲ-２　父親への支援について

問１　これまでのご経験のなかで，担当した児童生徒（特別支援学校）の父親への支援に関わったことがありますか？

あてはまるものをお選び下さい。

① ある　② ない　③ その他〔　　〕

問２　父親からの相談内容（児童生徒とその支援、ご家族のこと、等）として，これまでに経験したものをお選び下さい。

（複数回答）　ご経験がない場合は、こちらの問２/３は未回答とし、問４におすすみください。

（1）児童生徒の支援・介護について

①排泄　②入浴　③食事　④睡眠誘導（添い寝など）　⑤掃除・片付け

⑥マスターベーションや生理の処置など　⑦体調管理　⑧病気の看病　⑨その他〔　　〕

（2）児童生徒とのコミュニケーションやしつけについて

①話し(聴き)相手　②話しかけ・働きかけ　③遊び相手　④外出の付き添い

⑤父子のみで留守番　⑥善悪を教える　⑦性的行動について　⑧社会的マナー

⑨その他〔　　〕

（3）妻（児童生徒の母）への精神的援助

①妻の育児不安など　②妻との夫婦関係　③妻に関する性格や個人的悩みの相談

④妻の体調への気遣い　⑤その他〔　　〕

（4）父親自身のストレスについて

①役割の負担感　②父親としての能力など　③夫婦関係

④自身の仕事や経済的なこと　⑤子ども理解について　⑥子育ての精神的負担　⑦その他〔　　〕

（5）様々な情報について

①医療機関　②福祉機関　②進路　③学校生活について　④その他〔　　〕

問３　↑上記の相談内容（問２）に対して、どのような対応をされましたか？ご自由にお書きください。

（複数の項目に回答された場合，一つを挙げてご回答ください）

〔　　〕

問４　父親の支援において、最も重要だと考えられることは何ですか？　ご自身の意見をお書きください。

〔　　〕

Ⅲ-３　医療機関との連携方法について

問1　医療的ケア（かかりつけ医がいる／服薬しているなども含めて）が必要な児童生徒のかかりつけの医療機関と連携（連絡）や情報共有について、あてはまるものをお選びください。

（複数回答可能）

① 保護者との情報共有（保護者からの連絡・報告を受けるのみ）　②養護教諭との情報共有

② 校内看護師との情報共有　④コーディネーターとの情報共有　⑤医師と郵送による書面交換

⑥直接医療機関へ訪問　⑦直接メールで医師や看護師と情報を共有

⑧ 直接電話で医師や看護師と情報を共有　⑨その他〔　　〕

問2　医療機関と円滑に連携を図るためのツール/準備されたシステム（メール，クラウドなどで共有カルテ、等）などが必要だと思いますか？

① 強く必要性を感じる　②少し必要性を感じる　③特に必要性を感じない　④その他〔　　〕

問３　↑上記（問２）「①強く必要である」「②少し必要である」と答えた場合、どのようなツールが望ましいと考えますか？ご自由にお書きください。

（例：本人・保護者・医療現場・学校がつながることができるアプリ、医療現場といつでもチャットができる機能、など）

〔　　〕

問４　医療機関と連携を図る上で課題として思ったことは何ですか？　ご自身の意見をお書きください。

〔　　〕

アンケート項目は以上です。お忙しい中、最後までご協力を頂き、本当にありがとうございました。